

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地			
河原アイベツワールド 専門学校	平成16年3月26日	石川 達也	〒790-0006 愛媛県松山市南堀端町6番地11 (電話) 089-935-8787			
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地			
学校法人河原学園	昭和60年10月21日	河原 成紀	〒790-0001 愛媛県松山市一番町一丁目1番地1 (電話) 089-943-5333			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養	文化・教養関係 専門課程	動物看護・栄養管理学科	平成29年2月28日 文部科学 大臣告示第30号	—		
学科の目的	動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れ、動物管理の専門能力を持つとともに、動物医療・看護に関する知識・技能の習得に加え、受付業務、衛生管理、飼い主対応など動物病院の業務全般にわたって獣医師を補佐できる人材を育成し、地域社会の発展に貢献する。					
認定年月日	平成26年3月31日					
修業年限	昼夜	講義	演習	実習	実験	実技
2年	2,280時間	1,380時間	90時間	810時間	0時間	0時間
	単位時間					
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人	46人	0人	2人	9人	11人	
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期試験、確認テスト、提出物、授業態度、実習態度、出席率などに基づき総合的に評価する	
長期休み	■学年始:4月1日～7月31日 ■夏季:8月1日～8月31日 ■冬季:12月20日～1月7日 ■学年末:3月1日～3月31日		卒業・進級条件		・履修するすべての科目においてSABCIいずれかの評価を得ること ・原則として出席率90%以上であること	
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 本人、保護者への電話対応及び自宅訪問を実施。遅刻が目立つ学生には保護者面談を実施。		課外活動		■課外活動の種類 WJVF学会への参加 ■サークル活動: 有	
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(2019年度卒業生) 動物病院、ペットショップなどの動物関連業界		主な学修成果(資格・検定等)※3			
	■就職指導内容 1年次より、動物業界理解のためのインターンシップ実習を実施し、2年次は就職を意識したインターンシップ実習を行っている。					
	■卒業者数 : 22 人					
	■就職希望者数 : 22 人					
	■就職者数 : 22 人					
■就職率 : 100 %						
■卒業者に占める就職者の割合 : 100 %						
■その他 ・進学者数: 0人						
(2019 年度卒業者に関する 2020年5月1日 時点の情報)						
中途退学の現状	■中途退学者 2名		■中退率 4.1%			
	2019年4月1日時点において、 2020年3月31日時点において、 ■中途退学の主な理由 ・精神疾患 ・進路変更 (1名2019年5月に転科) ■中退防止・中退者支援のための取組 ・遅刻欠席が続いた場合、早期に学園カウンセラーや保護者との連携を強化していく。 ・問題があると判断した新入生には、保護者及び高校担任からのヒアリングを実施し、学校教職員で共有する体制を構築する。		在学者 49名 (2019年4月1日入学者を含む) 在学者 46名 (2020年3月31日卒業者を含む)			
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有・無 ※特待生制度(授業料1,000,000～150,000円減免)、AO入試特典(初年度授業料100,000円減免)、推薦特典(初年度授業料50,000円減免)、自己推薦特典(初年度授業料30,000円減免)、大学・短大・社会人特典(初年度授業料750,000円減免)、家族制度(初年度授業料50,000円減免)、再入学制度(入学料150,000円減免) ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※2018年度の給付実績者数 1名					
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有・無 評価団体: JAMOTE認証サービス株式会社 (JAMOTEC)、受審年月: 平成28年12月10,11日					
当該学科のホームページURL	URL: www.kawahara.ac.jp/ipet/					

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)
「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。
(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まれません。
③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。
※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。
(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について
①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
②「就職」とは給料、賃金、報酬その他定期的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。
(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)
認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育課程の編成においては、業界及び社会の変化やニーズ、在校生及び卒業生の仕上がり状況等の不断の組織的、継続的検証を行う必要がある。企業等から広く、具体的に意見を求め、高度で実践的な教育課程を編成するために、新たな授業科目の開設における連携はもちろんのこと、現存のシラバスやコマシラバスにまで落とし込める授業内容・方法の改善並びに教材開発につながる連携を行うことを基本方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

本校職業実践専門課程においてより実践的かつ専門的な高度職業教育を行う観点から、企業・業界団体等より業界における人材の専門性に関する動向や求められる知識・技術等について意見を聴き、これを踏まえてカリキュラムや教育方法の改善・工夫に組織的、継続的に取り組むことを目的とする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

2019年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
門田 尚之	愛媛銀行(人事教育部)	2019年4月1日～2020年3月31日	①
南 博文	愛媛県獣医師会(南動物病院)	2019年4月1日～2020年3月31日	②
塚田 祐介	有限会社 MHVC(松山ほうじょう動物クリニック)	2019年4月1日～2020年3月31日	③
石川 達也	河原アイペットワールド専門学校		
川邊 大介	河原アイペットワールド専門学校		
沓名 竜佑	河原アイペットワールド専門学校(学科責任者)		
徳原 みさき	河原アイペットワールド専門学校		

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(前期後期終了後に各期総括として開催するため11月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 2019年11月7日 17:00～18:30

第2回 2020年2月20日 16:00～17:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

2019年4月より、認定動物看護師資格のコアカリキュラムが現行の2,400時間から2,280時間になるため、科目・シラバスなどについての意見を徴収した。

①公的資格化に向けた動きも加味しながら作成する必要があるが、公的資格についての確定情報はないため、現行の科目での検討を行う。②大学との単位認定を推進する。③産業動物については施設見学の案もあったが、試験対策程度にすることになった。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等と連携した実習等は、1)学生が校内における通常の実習等では得ることが難しい実践的、専門的な知識や技術等を習得する場であり、2)さらには学習してきた知識や技術の理解度、習熟度を再確認し、3)企業等の関係者から具体的で実践的な評価を得て、学生の実務能力を多面的に開発する機会とする。また学生能力の習得のみならず、その機会を通じて、学校の実習カリキュラムがより実践的な内容になるよう努めることとする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

総合臨床実習Ⅱについては、一定の評価基準を設定し企業によつての評価差が出ないよう実習評価表を整備している。また、現場でのニーズなどを具体的に講義するよう依頼している。

(3)具体的な連携の例 ※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
動物看護総合実習(1年時)	企業理解のための指定動物病院へのインターンシップ実習(1年次)	松山ほうじょう動物クリニック
動物看護総合実習(1年時)	就職希望企業へのインターンシップ実習(2年次)	愛媛県内外の動物関連企業
動物外科看護学	周術管理とエマージェンシーを学ぶ	松山ほうじょう動物クリニック
動物看護学総論	入院看護・創傷管理・受付対応・問診・電話対応・クライアント教育	ブルーバード動物病院
動物臨床看護学各論	精密検査の実習・概論・応用(検査の工程から結果までを鑑別・評価し、獣医師への的確な報告のあり方を学ぶ。	松山ほうじょう動物クリニック

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

本校の教員研修の基本方針は、1)各教員の専攻分野における実務に関する高度な専門知識・技術の修得、2)およびそれらを授業計画(カリキュラム、シラバス、コマシラバス)に落とし込む能力の修得、3)さらにはその研鑽を実際の授業運営に反映させる教育力の修得を目的として、教職員研修規程第2条に定める研修を受講させることとする。同規程第3条に定めるとおり、所属長及び法人本部総務部責任者は、各教員の実務専門性や教育力の組織的で継続的な向上に努めることとする。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「WJVJF(動物臨床医学会)学会参加」(連携企業等:公益社団法人 日本動物病院協会)

期間:7月13,14日(土、日) 対象:動物看護・栄養管理学科教員、2年生

内容:日本の獣医療の最新知識を受講し質疑応答などに行い、有識者との意見交換を実施

研修名「愛媛県における愛護活動」(連携企業等:愛媛県動物愛護センター)

期間:5月7日(火) 対象:河原アイペットワールド専門学校教員、動物看護・栄養管理学科1年生

内容:愛媛県における動物愛護活動や殺処分状況の講習を受講し、愛護活動取り組みについての意見交換を実施。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「性の多様性を理解するために」(講師:鳴門教育大学学校教育学部 教授 葛西真記子様)

期間:8月21日(火) 対象:学校運営者、教務

内容:教育現場におけるLGBTフォローの重要性を認識し、ジェンダーの問題に起因する休退学防止ひいては自殺を防止するための研修を実施する。

研修名「シラバスと学校教育〈学習〉か〈教育〉か、あるいは学校教育の主体性について」(講師: 河原学園副学園長 芦田宏直)
期間: 12月24日(火) 対象: 学校運営者、教務
内容: コマシラバスの重要性を理解し、コマシラバス作成能力および授業の質を向上させるための研修を実施する。

研修名「学校内で起こる法的事案についての適切な対応を学ぶ」(講師: ひめはな法律事務所 弁護士 射場和子様)
期間: 3月17日(火) 対象: 校長、学校運営者
内容: 学校現場における法的事案の事例を学びながら、各事案における適切な対応方法について理解する研修を実施する。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「WJVVF(動物臨床医学会)学会参加」(連携企業等: 公益社団法人 日本動物病院協会)

期間: 7月中旬 対象: 動物看護・栄養管理学科教員、2年生

内容: 日本の獣医療の最新知識を受講し質疑応答などに行い、有識者との意見交換を実施(新型コロナウイルスの影響によりオンラインでの実施)

研修名「愛媛県における愛護活動」(連携企業等: 愛媛県動物愛護センター)

期間: 5月上旬 対象: 河原アイペットワールド専門学校教員、動物看護・栄養管理学科1年生

内容: 愛媛県における動物愛護活動や殺処分状況の講習を受講し、愛護活動取り組みについての意見交換を実施予定であったが、新型コロナウイルスの影響により中止。再開の目途立たず。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「河原学園新任教員研修」

期間: 4月～7月にかけて12回程度を予定 対象: 2019年度入職の新任教員

内容: 専修学校制度、職業実践専門課程概要、第三者評価、職業教育のあり方、教育目標・科目目標の設定、シラバス・コマシラバスの作成、授業成果評価、就職サポート、自然災害発生時対応、アカハラ相談等、専門学校における教育活動全般に関する研修を実施する。

研修名「データを用いたデジタルトランスフォーメーション講座」(連携企業等: 株式会社 ビーアライブ)

期間: 1月頃を予定 対象: 学校運営者、教務責任者、広報責任者

内容: デジタルトランスフォーメーション(DX)が単なる手段ではなく、データを用いた組織・ビジネス変革であることを理解し、自校と外部のデータを掛け合わせながら学校や社会の課題解決を促すことのできる人材の育成を目指す研修を実施する。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

本学全般の運営(経営、教育の現状、およびそれらの短・中・長期課題や方針、社会的責務など)について、学校関係者より意見を聴き、これを踏まえて学校運営の組織的、継続的な改善に取り組むことを目的とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育成人材像は明確に定められているか
(2)学校運営	学校組織は明確に位置付けられ、各部署で役割分掌がなされているか
(3)教育活動	コマシラバスには、その授業のキーポイントや授業の流れ、予復習のポイント、ポイントと関連する詳細な参考文献・資料などが具体的に記入されているか
(4)学修成果	在籍率、休退学率、出席率、資格取得率について目標は明確に数値化されているか
(5)学生支援	就職率実績の学内外の公開は、卒業年次5月1日現在在籍数を元に、休学者数、進学者数、卒業不可者数、無業者数などの内訳と共に示されているか
(6)教育環境	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか(講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか)など
(7)学生の受入れ募集	学生の受け入れ方針(アドミッションポリシー)は明示されており、公正かつ適切に学生募集及び入学者選考を行っているか
(8)財務	財務について会計監査が適正に行われているかなど
(9)法令等の遵守	学校教育法、私立学校法、専修学校設置基準などの重要な法律、省令をはじめ、学則や就業規則、その他規則・規程に基づき業務が執行されているか
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

一般的な計算・漢字などの基礎学力の向上についての取り組み:補習が必要と学内教務会議で判断された学生への補習体制の強化(専任教員が学科を横断し授業を担当することで担任へのサポートができる体制に改編した)

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

2019年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
木山 美樹	在校生保護者	2019年4月1日～2020年3月31日	在校生保護者
森岡 大輝	高知食糧株式会社 ペットStep松山余戸店	2019年4月1日～2020年3月31日	卒業生
川原 佑樹	ひごペットフレンドリー エミフル松前店	2019年4月1日～2020年3月31日	就職先企業担当者
徳永 晴樹	松山東雲中学・高等学校 校長	2019年4月1日～2020年3月31日	高校教員
谷口 祐一	南堀端町内会 監事	2019年4月1日～2020年3月31日	地域の有識者
塚田 祐介	松山ほうじょう動物クリニック	2019年4月1日～2020年3月31日	教育課程編成委員会委員
井手 一夫	ペットサロン松山	2019年4月1日～2020年3月31日	教育課程編成委員会委員
鳥飼 和樹	K9Japan	2019年4月1日～2020年3月31日	教育課程編成委員会委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等)刊行物・その他())

URL: www.kawahara.ac.jp/ipet/

公表時期: 2019年8月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

自己点検報告の評価を含めた外部評価委員の意見聴取に基づいて審議内容を整理し、学校運営に反映することに務め、審議内容については、公表事項を整理しすみやかに公表しなければならない。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	専修学校設置基準及び職業実践専門課程の認定要件に沿った適切な運営がなされているかなど
(2)各学科等の教育	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているかなど
(3)教職員	人事、給与に関する制度は整備されているかなど
(4)キャリア教育・実践的職業教育	学校における職業教育の特色は明確になっているかなど
(5)様々な教育活動・教育環境	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか(講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか)など
(6)学生の生活支援	学生相談に関する体制は整備されているか(相談窓口が設置されているか)など
(7)学生納付金・修学支援	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているかなど
(8)学校の財務	財務について会計監査が適正に行われているかなど
(9)学校評価	自己点検・評価結果を公開しているかなど
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等)の刊行物・その他())

URL: www.kawahara.ac.jp/ipet/

授業科目等の概要

(文化・教養関係専門課程 動物看護・栄養管理学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			動物形態機能学B	概論、比較解剖学、血液学、免疫学、形態機能学を通して体の仕組みと働きを学ぶ	1 年 通 年	60	4	○			○				
○			動物形態機能学A	病気の成り立ちと発症のメカニズムを学ぶ(形態機能・病理・免疫)	1 年 通 年	60	4	○			○				
○			動物病理学	体の仕組みや各疾患の概要・機序・治療・看護についてを器官別に学ぶ	1 年 前 期	30	2	○			○				
○			動物感染症学	看護業務にて深く関わる感染症とその法律について理解する	2 1 年 通 年 前 期	90	6	○			○				
○			栄養学	消化器や消化吸収の仕組みと栄養素の基礎を学ぶ	1 年 前 期	30	2	○			○				
○			人間動物関係学	人間と動物とのかかわりや歴史について学ぶ	1 年 前 期	30	2	○			○				
○			動物福祉・倫理	動物福祉の考え方について学ぶ	1 年 後 期	30	2	○			○				
○			動物繁殖学	繁殖の概論・ブリーディング・分娩新生児管理を学ぶ	1 年 後 期	30	2	○			○				
○			動物医療関連法規	愛玩動物飼養管理士2級合格を目指す。狂犬病予防法・動愛法・鳥獣保護法・AAE・AAA・HAB・飼養管理・動物愛護を学ぶ。	1 年 前 期	30	2	○			○	○	○	○	
○			野生動物学	野生動物やそれらに関わる法律について学ぶ	1 年 後 期	30	2	○			○	○	○	○	
○			伴侶動物学	猫と小動物(ウサギ・ハムスター・フェレット・モルモット・小鳥・チンチラなど)の特徴や飼育管理方法を学ぶ。	1 年 通 年	60	4	○			○				

(文化・教養関係専門課程 動物看護・栄養管理学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業 等との 連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			公衆衛生学	内部寄生虫、外部寄生虫及び各疾患の概要・機序・治療・看護について器官別に学ぶ	1年 通年	60	4	○			○				
○			グルーミング実習Ⅰ	被毛の手入れ、シャンプー、ブラッシング、コーミング、爪切り、耳掃除、肛門嚢、クリッピング、ドライイングなどについて学ぶ	1年 後期	90	3			○	○				
○			トレーニング演習	犬の基本的な訓練法を学ぶ	1年 通年	60	2		○		○				
○			動物看護実習Ⅰ(内科、形態機能、臨床看護)	看護業務に関わる基本的な看護技術を習得し、各手順や要領を考慮し、正確かつスムーズに手技ができる	1年 通年	120	4			○	○				
○			動物臨床検査学	各検査の概論を理解し、検査手技を習得する。手順や要領を考慮し、正確かつスムーズに手技ができる	1年 通年	60	4			○	○				
○			動物看護総合実習	企業理解のための指定動物病院へのインターンシップ実習(1年時)、就職希望企業へのインターンシップ(2年時)	2年 前後期	180	6			○		○		○	○
○			グルーミング理論	グルーミングに必要な知識を学ぶ	1年 前期	30	2	○			○				
○			コンピュータ実習Ⅰ	ワードの基本技術を習得する	1年 通年	60	2			○	○				
○			就職実務Ⅰ	面接指導やナチュラルメイクやスーツの着こなしなど就職活動に必要な準備を行う。	1年 通年	60	4	○			○		○	○	
○			動物疾病看護学	動物看護師資格対策集を行う	2年 後期	90	6	○			○				
○			動物内科看護学	各疾患の概要・機序・治療・看護について更に深く学び、公衆衛生、ズーノーシス、滅菌、消毒、動物防疫学、実験動物、産業動物、野生動物について学ぶ	2年 前期	30	2	○			○				
○			動物臨床看護学各論	体の仕組みや各疾患の概要・機序・治療・看護について更に深く学ぶ	2年 通年	120	8	○			○				

(文化・教養関係専門課程 動物看護・栄養管理学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			動物看護各論	疾病に関する動物看護師資格対策を行う	2年後期	60	4	○			○				
○			動物薬理学	薬剤の各特性について学ぶ	1・2年後期	60	4	○			○				
○			産業動物学	産業動物に関する知識について学ぶ	2年後期	45	3	○			○				
○			動物臨床栄養学	栄養学の更に深い知識について学び、動物臨床栄養管理士資格取得に関わる知識を習得する	2年通年	60	4	○			○				
○			動物行動学	犬猫の発生起源、犬種別特徴から行動の意義と機序を学ぶ	2年前期	30	2	○			○				
○			実験動物学	猫と小動物について疾患管理を学ぶ	2年後期	15	1	○			○				
○			動物看護概論	動物看護における看護方法を疾患別、管理別に学ぶ	2年通年	60	4	○			○				
○			動物臨床看護学総論	入院看護・創傷管理・受付対応・問診・電話対応・クライアント教育について学ぶ	2年前期	30	2		○		○				○
○			動物医療コミュニケーション	緊急対応、リハビリテーション、小動物医療について学ぶ	2年後期	30	1		○		○				○
○			動物外科看護学	周術管理とエマージェンシーを学ぶ	2年通年	60	4		○		○				○
○			グルーミング実習Ⅱ	被毛の手入れ、シャンプー、ブラッシング、コーミング、爪切り、耳掃除、肛門嚢、クリッピング、ドライイングなどについて学ぶ	2年前期	90	3			○	○				
○			動物看護実習Ⅱ（形態機能、外科、臨床看護）	看護業務に関わる応用・臨床的な看護技術を習得し、チーム医療に結びつけるようにする	2年通年	150	5			○	○		○	○	

(文化・教養関係専門課程 動物看護・栄養管理学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			動物臨床検査学実習	精密検査の実習・概論・応用（健康チェック実習を行い、検査の工程から結果までを鑑別・評価し、獣医師への的確な報告のあり方を学ぶ。	2 1 年 前 通 年	90	3			○	○				○
○			コンピュータ実習Ⅱ	excelの基本操作を習得する	2 年 前 期	30	1			○	○				
○			就職実務Ⅱ	面接指導など就職活動に必要な準備を行う	2 年 前 期	30	2	○			○		○		
合計						38科目	2280単位時間(122 単位)					

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<ul style="list-style-type: none"> 履修するすべての科目において、S・A・B・Cいずれかの評価を得ること 原則として出席率90%以上であること 	1学年の学期区分	前後期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。